

# 何故シートベルトをしらないの？

今年の7月にシートベルトの着用率の調査をしたところ、富士見町が県下で最下位となった。何故こんなに着用率が悪いのか。過去のデータを踏まえ考えてみることにしよう。



平成15年7月25日に役場前の県道において、シートベルトの着用率の調査を行ったところ、県下で最も悪い69・6%でした。この調査は県下120市町村で一斉に行われたもので、県下で70%を割ったのも唯一富士見町だけでした。

今回の県下の平均着用率は87・9%で少しずつ上昇しているのに対し、富士見町は4月の調査時に比べ15・1ポイントも下がりました。

富士見町は過去(平成13年4月)にも64・7%と県下でワースト3に入る不名誉な記録があり、シートベルトの着用が定着してないことが浮き彫りになりました。

## なぜシートベルトをしらないの？

シートベルトをしない理由についていくつかあげて見たいと思います。心当たりのある方いませんか。

- ① 今まで事故を起こしたことがないから
- ② 優良ドライバーだからしなくて

も大丈夫

- ③ 安全運転をしているから
- ④ しめつけられるのはいやだ
- ⑤ 格好が悪いから(若者に多い)
- ⑥ 近くに用足しに行つて来るだけだから
- ⑦ スピードを出していなければ大きな事故に遭わないと思うから
- ⑧ 町内の道路は熟知しているから
- ⑨ 交通量が少ないから

## シートベルトをしらない人はどんな人？

平成14年上半年期(1月〜6月)における、長野県内でシートベルト着用義務違反で検挙された方の内訳をみると、女性の免許人口は全体で44%で、検挙された割合は30%と少ないのに対し、男性は56%の免許人口を14%上回る70%が検挙されています。

特に20代・30代の違反者が目立ちました。

富士見町の調査でも20代の若者や運送業者、タクシー、大型ダンブ・トラックの非着用が目立ちました。